

## II 編集後記 II

『史観』第一八一冊をお届けします。令和に改元されて最初の『史観』です。本冊は、日本史一本、東洋史三本、西洋史二本、考古学一本の計七本の論文を掲載した、ボリュームのあるものになりました。

『史観』の投稿規定が改定されました。投稿締め切りを明記しましたので、掲載を希望される方は、計画的に論文を執筆・投稿してください。また、新規会員も随時受け付けていますので、入会希望の方はご連絡ください。

研究論文は、ネットでダウンロードするものと勘違いしている学部生もいるほど、現在では情報が容易に得られるようになりました。しかし、それは問題もはらんでいます。

『史観』は刊行から二年間の間隔をあげた上で、早稲田大学機関リポジトリ上で閲覧できますが、「彙報」については、個人情報保護法に抵触する可能性があることから、非公開となりました。第一八〇冊までは、「彙報」欄に各年度の卒業論文・修士論文の題目と執筆者名を掲載していましたが、今後は紙媒体についても、本人の同意が得られた場合のみ、執筆者名を記載することになります。「卒業論文は、それまでの人生が凝縮された一生の記念である」という考え方は、古くなってしまうようです。

ウェブ上に玉石混淆の情報が飛び交う時代の到来で、地道に積み上げてきたこれまでの学問、とりわけ人文文学は岐路に立たされています。

(谷口眞子)

### 執筆者紹介(掲載順)

岩野公太郎	早稲田大学大学院文学研究科 修士課程
劉胤汝	早稲田大学大学院文学研究科 博士後期課程
林美希	早稲田大学教育・総合科学学術院 非常勤講師
和田大知	早稲田大学大学院教育学研究科 博士後期課程
岸田菜摘	早稲田大学大学院文学研究科 博士後期課程
唐澤晃一	香川大学教育学部准教授
高橋龍三郎	早稲田大学文学学術院教授
佐藤亮太	藤沢市郷土歴史課非常勤職員
比留間絢香	早稲田大学大学院文学研究科 修士課程
隈元道厚	早稲田大学大学院文学研究科 修士課程

令和元年九月十九日印刷  
令和元年九月二十五日発行

### 史観

第百八十一冊  
定価 一千五百円

編集者 近藤二郎

印刷所 株式会社 白峰社

発行所 早稲田大学史学会

東京都新宿区戸山一―二四―一  
電話東京(三三〇三)四一四―番  
振替〇〇一九〇―八―一四六二九